

令和3年度 文部科学省委託研究事業(公募)

ICTを活用した障害のある児童生徒に対する指導の充実

事業名「ICTを活用した自立活動の効果的な指導の在り方の調査研究」

事業期間 ~ 令和4年3月31日

〈事業の趣旨〉

GIGAスクール構想やコロナ禍の学習保障等の観点から、特に対面指導が一般的な自立活動の指導について、ICTを活用した遠隔指導の在り方について検討すること。

〈事業の実施方法〉

ICTを活用した自立活動の効果的な指導の在り方の研究に関わる企画(検討)会議の設置

会議や情報共有等に関して、ICTを活用した効果的な実施

〈事業の実施内容〉 ① 児童の実態把握

【Check】保護者と学級担任を対象にした振り返り  
→オンライン面談の在り方  
=前向きな評価と改善のための示唆を得ること

保護者・担任

1. 各問に対する5件法…5問

5	4	3	2	1
思う	やや思う	どちらでもない	あまり思わない	思わない

(1) 主として「オンライン」に関すること  
Q1. 〈効率的性〉オンライン面談は、時間を効率的に活用できると思う。  
Q2. 〈安全性〉オンライン面談は、感染症対策や移動時の危険防止など、衛生・安全面に配慮した方法だと思う。

(2) 主として「面談」に関すること  
Q3. 〈情報の伝えやすさ/伝わりやすさ〉説明や質問等を適宜理解したり「伝わっている」安心感を得たりしながら参加できたとと思う。  
Q4. 〈やりとり〉保護者(本人)と担任が相互にやりとりしながら参加できたとと思う。

(3) 全体に関すること  
Q5. 今後もオンライン面談を活用したいと思う。

2. 自由記述

〈事業の実施内容〉

① 遠隔でのやりとりを含めた児童生徒の実態把握の在り方の研究

② 自立活動の指導について、遠隔による実施を含めた指導及び評価の在り方の研究

③ 遠隔でのやりとりを含めた、外部の専門家等との連携の在り方の研究

〈事業の実施内容〉 ③ 外部専門家等との連携

【Check】大学教員及び学生による振り返りシートの記入  
→遠隔での授業参観を通じた大学等専門家との連携  
(遠隔授業参観を通じた教師教育に関する実践的試行)

遠隔授業参観フィードバックシート(指導用)	遠隔授業参観のフィードバックシート
メールでの送受信を行う (ICTを活用した効果的な実施)	webアンケートを検討する (ICTを活用した効果的な実施)

〈事業の実施内容〉 ② 遠隔を含めた指導と評価

【Check】授業者による評価及び評価に対する振り返り  
→遠隔による指導を含めた実施を含めた指導及び評価の研究  
=「個別の指導計画(自立活動)」と「遠隔指導の振り返りシート」の活用

「個別の指導計画(自立活動)」	「遠隔指導の記録シート」
<p>〈総合的評価〉 →オンライン面談も含めた総合的な活用</p>	<p>〈形成的評価〉 →遠隔指導に焦点化した学習活動の記録 ※文部科学省(令和3年2月19日)「感染症や災害等の非常時にやむを得ず学校に登校できない児童生徒に対する学習指導について(通知)」において、非常時に登校できない場合も以下の要件を満たすことにより学校の学習評価に反映できるとされた。 【要件1】教科等の指導計画に照らして適切に位置付くものであること 【要件2】教師が児童生徒の学習状況及び成果を適切に把握することが可能であること 文科省通知を踏まえて、学習状況等の把握も視野に入れた記録シートを作成する。</p>